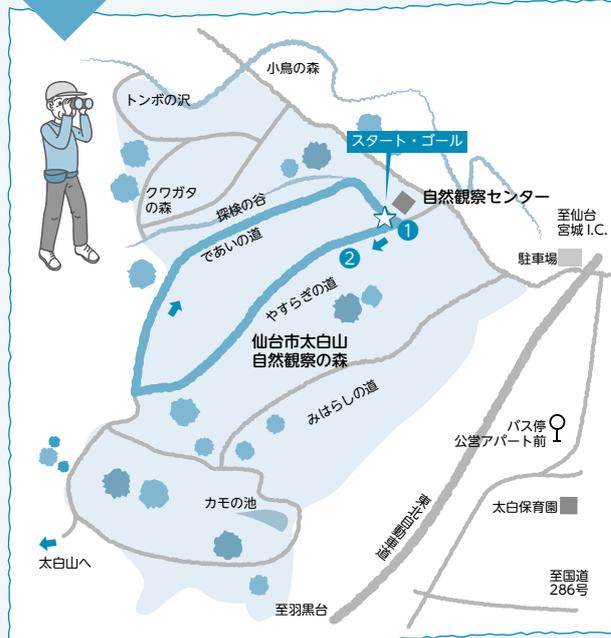


自然の息吹を感じる、癒やしの空間への誘い

その三



せんだい
仙臺まちあるき虎の巻

今回は、市の南西に位置する、太白山自然観察の森をウォーキング。子どもや高齢者でも気軽に歩けるコースを、森に詳しいレンジャーに解説してもらいながら1周します。

森のガイドマップを片手に、いよいよコースへ。標高321メートルの太白山の麓、緑豊かな道

◆歩行距離:2.0km ◆所要時間:90分(レンジャーのガイド付き)
※今回のコースは「仙台市太白山自然観察の森ガイドマップ」(ホームページhttp://sendai-green-association.jp/download_top/index.html)を参照



▲「毎週日曜日には私たちレンジャーがガイドします!」(詳しくは27ページ)。写真左上は「センテコガネ」

野鳥のさえずりに癒やされるのもよし、汗を流して歩くのもよし。四季折々の表情の中を目と耳で楽しみながら歩いてはいかげでしょうか。運が良ければ、リスやウサギ、ニホンカモシカに出会えるかも?



▲緑のトンネルを思わせる生い茂る木々の道(図②)。写真右下は「ニホンカモシカ」

中には、レンジャーに促されてよく見ると、さまざまな植物や昆虫が。歩き始めてすぐには、昔話「浦島太郎」の釣り糸に見立てて名付けられた「ウラシマソウ」が咲いており、緩やかな坂を登った先では、ふんを片付けてくれることから「森の掃除屋」とも呼ばれる「センテコガネ」を発見。この日は天気が良かったので、太白山の頂上を眺めることもできました。

問 太白山自然観察の森 ☎244・6115、FAX 244・6133

ごみ減量・分別の豆知識

紙類は雨の日でも出せます



平成28年度に家庭ごみに含まれていた紙類は約53,600トン。これらを古紙として売却すると、約6億9,600万円にもなるんです。分別しないとモッタナイ!



▲紙類は十文字に縛って出しましょう

市では月2回、紙類の定期回収を行っています。回収した紙類は水や薬品で溶かしてからリサイクルされるので、雨の日でも出せます。家庭ごみなどと同様に収集日当日の早朝から午前8時半までに集積所に出してください。

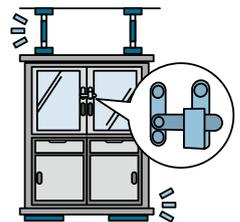
問 家庭ごみ減量課 ☎214・8229、FAX 214・8277

知って役立つ! ワンポイント防災講座

家具の転倒防止対策

地震のときに、家具が倒れたり、食器が割れて散乱したりすると、けがをする恐れがあります。家具の配置の見直しや転倒防止対策は、身を守るためにも重要なことです。

自分が寝ている場所に倒れてくる家具はありませんか? 居室の家具や家電には、L字金具や突っ張り棒式器具、粘着マット、扉開放防止器具などを付けて対策すると効果的です。市販されていますので、それぞれの家庭にあったものを付けて安全な家にしましょう。



問 減災推進課 ☎214・3109、FAX 214・8096